

# 委託事業実施内容報告書

## 平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 株式会社きぼう国際外語学院

### 1. 事業名称 「やさしい日本語」の普及とやさしい日本語での日本語教育体制整備事業

### 2. 事業の目的

地域の外国人理解を促進し、やさしい日本語の使い手を増やすため、「やさしい日本語」の普及を目的とした。「やさしい日本語」を各分野に普及させ、今までの連携はもとより、様々な所と連携していく。また、この事業で、日本語学習だけではなく、外国人同士、または日本人とのネットワーク作りができればと考えている。

### 3. 事業内容の概要

#### ●取組1:日本人対象「やさしい日本語」の基礎講座

《課題である「やさしい日本語の使い手を増やす」ことを目的としている。》

病院、商店街、外国人受け入れ企業、またサービス業関係の企業に外国人と出向き、外国人と日本語教師による「やさしい日本語講座」を開く。実際に自分の「やさしい日本語」が外国人に通じるかなどを体験し、「やさしい日本語」や外国人に興味をもってもらうことで、受け入れ側である日本人に、外国人のよき理解者を増やしたい。

#### ●取組2:生活する外国人出演による多文化共生番組作成と発信

《受け入れ側である日本人の外国人理解促進、外国人の日本語学習、社会参加を目的としている。》

栃木県全域に流れるFMを使い、外国人が自分の生活や、悩みを発信することは、聴取者である地域住民に外国人の存在を知ってもらう、理解してもらうことになる。多数の外国人が参加することは、栃木県の外国人の様子を知るきっかけになる。参加する外国人にとって、ラジオ番組に出演することは、日本語の学習になり、社会参加の足がかりにもなる。また、日本語教師がアドバイザーとして出演することにより、日本語教師の存在を聴取者に知ってもらう機会になる。

#### ●取組3:生活する外国人向け日本語教室「場面・テーマ別で学ぶ日本語講座」(取組4と連携)

《外国人の日本語学習意識を高める、日本語力向上、日本人と知り合う機会を設定することを目的としている。》

#### ●取組4:外国人と日本人とで学ぶ 日本生活エンジョイセミナー(取組3と連携)

《外国人の学習意欲、日本語力を高め、日本人とのネットワークを得る機会を設定することを目的としている。》

自分が知りたい日本語を学習する、そして、その情報を得る日本人とのネットワークを作る日本語教室を開催する。そのテーマに関する日本語自体を学ぶ教室と、テーマに関する内容を日本人と学ぶ(テーマによっては講師として専門家に参加してもらう)教室を同じ時間に別会場で開催し、その後、合同で交流を兼ねた授業を行う。日本語の学習をし、それを即、実際に使うチャンスを設定することで、学習者の学習意欲、達成感を高めることとができる。また、知りたい情報を持つ日本人とのネットワーク作りをすることができる。

### 4. 運営委員会の開催について

#### 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年5月23日(金) 18:00~21:00	3時間	宇都宮東市民活動センター	坂本文子 小林有見子 行本リジア 本多辰子エリザ 栗又由利子 玉木成雄	事業内容の確認 協力体制の確認 課題の発掘	各それぞれの立場で協力できることは何かを確認。 新たな課題はないか検討。
2	平成26年9月23日(火) 10:00~13:00	3時間	宇都宮東市民活動センター	坂本文子 小林有見子 行本リジア 根本愛子 小櫻道信 栗又由利子 玉木成雄	事業内容報告 事業内容反省点、改善点 協力体制の再確認 新しい連携先の提案等	事業内容を宣伝するためにはどうするか 公的機関へのアプローチを考える

3	2015/3/15 13:30~16:30	3時間	きぼう国際外語学院	坂本文子 行本リジア 根本愛子 世良時子 小櫻道信 日吉達也 矢野 順 玉木成雄 栗又由利子	事業報告 今年度の新たな発見と反省 今後の可能性について	「やさしい日本語」を普及するための方法 「やさしい日本語」体験してもらうための方法
---	--------------------------	-----	-----------	--	------------------------------------	--

## 5. 取組についての報告

### ○取組1:日本人対象「やさしい日本語」の基礎講座

#### (1) 体制整備に向けた取組の目標

「やさしい日本語の使い手を増やす」こと

#### (2) 取組内容

病院、商店街、外国人受け入れ企業、またサービス業関係の企業に外国人と出向き、外国人と日本語教師による「やさしい日本語講座」を開く。実際に自分の「やさしい日本語」が外国人に通じるかなどを体験し、「やさしい日本語」や外国人に興味をもってもらう。

#### (3) 対象者

受講者:各団体に所属している日本人(病院、教育機関、商店街など)

講師:外国人講師(各国際交流協会からの推薦)

#### (4) 参加者の総数 受講者:69人 講師:16人

出身・国籍別内訳

中国	1人	インドネシア	1人	
韓国	人	タイ	1人	カンボジア1人
ブラジル	1人	ペルー	2人	スリランカ1人
ベトナム	7人	フィリピン	1人	
ネパール	人	日本	69人	

#### (5) 開催時間数(回数) 2時間(全2回)6時間(全1回)

#### (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年11月18日(火) 10:00~12:00	2時間	報徳看護専門学校	37人	中国(1人), ペルー(1人), タイ(1人), フィリピン(1人), ベトナム(2人), カンボジア(1人), 日本(30人)	「やさしい日本語」を学ぼう	外国人と直接話しながら、「やさしい日本語」について学ぶ。どんな話し方がやさしいのか、体験を通して学ぶ。	栗又由利子(講師)	佐藤スワン クサカベエリザベス 近藤ボア 石川ヴィルジリー 永池 柳 ノン ティ ビック 中里ホンヤン
2	平成26年11月21日(金) 9:00~16:00	6時間	宇都宮市国際交流プラザ	20人	インドネシア(1人), ベトナム(1人), ブラジル(1人), 17人(日本)	宇都宮市職員向け「やさしい日本語」基礎講座	第1部 窓口対応編 窓口での「やさしい日本語」を使っての外国人対応 第2部 文書作成編 外国人向けの「やさしい日本語」での文書作成	栗又由利子(講師)	行本リジア アエブ サエブ ディン タン ミビン
3	平成26年11月23日(日) 14:00~16:00	2時間	佐野市中央公民館	29人	ベトナム(4人), ペルー(1人), カンボジア(1人), スリランカ(1人)	「やさしい日本語」基礎講座	「やさしい日本語」とは「やさしい日本語」はどうして必要か	根本愛子(講師)	近藤ボア マウ菊島弘志 レ ハイ ダン N.D.トウ レ ゴック タン 石川 ウィン アルーナ

#### (7) 参加者の募集方法

1, 2については、各開催場所主体で募集してもらった。

3については、チラシを作成し、佐野市各公民館等置いてもらった。また、SNSを使って、宣伝した。

## (8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

特徴的な活動としては、宇都宮市職員向けに講座を開くことができたことである。宇都宮市の国際交流を担当している「国際交流プラザ」と協働で開催した。国際交流プラザとして「やさしい日本語」を広げたいという希望と、当校の事業がマッチし、共同開催することができた。

宇都宮市職員向け、「窓口対応編」と「文書作成編」の2部構成で講座を行った。

窓口対応では、すでに外国人との対応の経験がある方が多かったため、外国人と実際に話しながら情報を聞き取るという活動では、いろいろな工夫をされていた。また、外国人から実際に経験した市役所での対応や、今後の外国人対応のありかたなどについて聞くことができ、有意義な講座だったとの感想があった。

佐野市国際交流協会の講座は、佐野市国際交流協会が主催という形をとってくださったため、各地の公民館にもチラシを置くことができたり、市の広報に載せていただくこともできた。

なぜ「やさしい日本語」が必要なのかというところから話し、「やさしい日本語」の意義等を学んでもらったあと、実際に外国人がどんな情報をほしいと思っているのか、またその情報を「やさしい日本語」にしたとき、わかるかどうかということに参加している外国人に直接インタビューしながら講座を進めた。参加者から、「役に立った」という意見をいただいた。

看護学校では、昨年同様、日本人の看護師の卵たちに「外国人とのコミュニケーション」を体感してもらい、非常に有意義であったと学校側からも感想をいただいた。

この講座では、日本語があまり得意ではない日系ペルーの方が参加したが、その方が、「役に立てなくてごめんなさい。もっと日本語上手になりたい」と言っていた。その後も積極的に連絡をくれるようになった。他の国の外国人と関わったこと、なにか役に立つと感じたことが、彼女のモチベーションをあげたのではないかと、社会参加を促したのではないかと感じた。



宇都宮市役所職員向け  
「やさしい日本語」講座



佐野市国際交流協会  
「やさしい日本語」基礎講座



報徳看護専門学校

## (9) 取組の目標の達成状況・成果

取組の目標である「やさしい日本語の使い手を増やす」という点では、達成できたのではないかと思う。今後外国人と携わるであろう若い看護学生、携わりながら試行錯誤しており、はっきりと「やさしい日本語」が見えていなかった市役所職員、普段関わりを持っているが、改めて自分の使用している日本語を確認をしたことがないボランティアという、多様な人たちに「やさしい日本語」を広められたことは非常に意味があったと思う。

受講者のアンケートにも、「今後の活動に役に立つ」という回答が多かった。また、「やさしい日本語にするのは難しい」という意見もあった。どこまで、誰に合わせて、どのようにするか、相手によって変わってくる「やさしい日本語」は、時として、煩雑に感じることもあると考えられる。

(10) 改善点について

講座への満足度は非常に高かったが、やはり継続して講座を行うこと、たくさんの人に参加してもらおうということが課題になると考えられる。

また、今回の看護学校、宇都宮市職員は、特定の団体での募集になってしまったが、半強制的に集められていたとしても、「日本語教育に関係ない」方々が参加し、満足してくださったことは、講座を開催した意義があったのではないかと思う。

佐野市での開催では、広く一般に募集したが、やはり日本語教室のボランティアがほとんどで、ふだん「日本語教育と関係ない」方に参加していただくことは、非常に難しいと感じた。

一般に広く参加していただく方法を模索することも大切だが、ある特定の団体に向け、「やさしい日本語」をアピールすることも、「日本語教育と関係ない」方に参加していただく一つの手段ではないかと思う。

○取組2:生活する外国人出演による多文化共生番組作成と発信

(1) 体制整備に向けた取組の目標

受け入れ側である日本人の外国人理解促進、外国人の日本語学習、社会参加

(2) 取組内容

栃木県全域に流れるFMを使い、外国人が自分の生活や、悩みを発信する。また、日本語教師がアドバイザーとして参加する。

(3) 対象者

ラジオの聴取者

FM番組に出演する外国人(各国際交流協会からの推薦)

(4) 参加者の総数 12 人

出身・国籍別内訳

中国	1人	インドネシア	1人	
韓国	人	タイ	1人	イラン 2人
ブラジル	2人	ペルー	1人	アメリカ 1人
ベトナム	2人	フィリピン	1人	
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 番組放送 総時間 1時間  
番組作成 総時間12時間  
内容検討会議総時間6時間

(6) 取組の具体的内容

【内容検討会議】

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年4月29日 13:00~15:30	2.5時間	小山市城南コミュニティセンター	6人	中国(1人), ペルー(1人), フィリピン(1人), タイ(1人), イラン(1人), ベトナム(1人)	ラジオ放送内容検討	ラジオ放送でどんな話を伝えたいか日本語でのミスコミュニケーションについて		
2	平成26年8月12日 14:00~17:30	3.5時間	宇都宮東市民活動センター	6人	ブラジル(2人), イラン(1人), ベトナム(1人), アメリカ(1人), インドネシア(1人)	ラジオ放送内容検討	ラジオ放送でどんな話を伝えたいか日本語でのミスコミュニケーションについて ミスコミュニケーションが起きる原因について		

【ラジオ作成】

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	放送日
1	平成26年6月24日 16:00~18:00	2時間	レディオベリー	2人	フィリピン(1人), タイ(1人)	日本人配偶者	日本人配偶者として、ご主人との会話で難しかった日本語、失敗してしまった日本語を放送する。	栗又由利子(講師)	7月毎週水曜日 10:14~10:17
2	平成26年7月14日 16:00~18:00	2時間	レディオベリー	2人	中国(1人), イラン(1人)	市役所	市役所で聞いた難しい日本語、意味のわからなかった日本語について放送する。	栗又由利子(講師)	8月毎週水曜日 10:14~10:18
3	平成26年8月19日 16:00~18:00	2時間	レディオベリー	2人	ベトナム(1人), ペルー(1人)	病院	病院で聞いた難しい日本語、意味のわからなかった日本語について放送する。	栗又由利子(講師)	9月毎週水曜日 10:14~10:19
4	平成26年9月16日 16:00~18:00	2時間	レディオベリー	2人	ベトナム(1人), アメリカ(1人)	外国人だからって	外国人として感じた、日本人の外国人への対応で不自然に感じたことを放送する。	栗又由利子(講師)	10月毎週水曜日 10:14~10:20
5	平成26年10月22日 16:00~18:00	2時間	レディオベリー	2人	ブラジル(2人)	外国人児童生徒	外国人児童生徒問題について、保護者、元児童生徒の立場として、学校などに考えてもらいたいことを放送する。	栗又由利子(講師)	11月毎週水曜日 10:14~10:21
6	平成26年11月13日 16:00~18:00	2時間	レディオベリー	2人	イラン(1人), インドネシア(1人)	日本でのビジネス	日本でビジネスをしていて感じていることを放送する	栗又由利子(講師)	12月毎週水曜日 10:14~10:22

(7) 参加者の募集方法

聴取者: FNS、レディオベリー放送内での宣伝  
会議、収録参加者: 地域住民への声かけ

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

11月放送分の「外国人児童生徒」については、事前に放送内容を栃木県教育委員会に確認した。放送の説明を行い、主旨を理解していただき、放送原稿のチェックも行っていただいた。放送内容に大きな差異はなかったが、やはり言葉の使い方、また、勘違いが起こらない文章にとの修正があった。公共の電波に情報を載せることには、慎重さが求められると感じた。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

今年度のラジオ放送は、前年度までの反省を踏まえ、日本人向けの番組内容とした。その結果、リスナーから「おもしろい」と感想を聞くことができた。

ラジオ放送への意見、感想を聞くことは難しいが、SNSで発信した音声を聞いた人たちから、「こんなふうに外国人が思っていたなんて知らなかった」「こんなところが難しいとは思わなかった」「日本人と同じなんだと思った」という感想を聞くことができた。

また、評価会議においても、「内容はいろいろな人に聞いてほしい」という意見だった。しかし、放送時間への指摘もあった。

今後、FMとも検討していきたい。

(10) 改善点について

より多くの外国人に参加してもらえるような企画作り、またリスナーが「楽しく」外国人について知ることができ、「へえ、なるほど」と思ってもらい、関心を持ってもらえるような番組を作れたらと考えている。

ラジオ放送は、目的を持って聞いている人は少ない。「聞き流し」が多いが、その中で、「この番組おもしろい」「もっと聞いてみたい」と感想がもらえるような番組にしたい。

番組の感想を聞くことは非常に難しいが、感想を聞くことができるような体制を作っていきたい。

○取組3:生活する外国人向け日本語教室「場面・テーマ別で学ぶ日本語講座」

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国人の日本語学習意識を高める、日本語力向上、日本人と知り合う機会を設定すること

(2) 取組内容

自分が知りたい日本語を学習する、そして、その情報を得る日本人とのネットワークを作る日本語教室を開催する。そのテーマに関する日本語自体を学ぶ教室を開催し、日本語の学習意欲を促進する。その後、テーマに関する内容を日本人と学ぶ教室と合同で交流を兼ねた授業を行い、実際に学習した内容を運用するチャンスを作る。

(3) 対象者 栃木県または近県に住む外国人(初～中級程度)

(4) 参加者の総数 155 人

出身・国籍別内訳

中国	93人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	38人	アメリカ3人、チェコ1人、スロバキア1人、チリ1人
ブラジル	3人	ペルー	4人	パキスタン5人
ベトナム	10人	フィリピン	2人	
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 2 時間 (全15回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年5月11日 10:00~12:00	2時間	バス	40人	中国(1人)、ブラジル(1人)、タイ(38人)	バス旅行	バス旅行をしながら、旅行を企画する方法を学ぶ	栗又由利子	
2	平成26年6月8日 10:00~12:00	2時間	小山市城南コミュニティセンター	8人	タイ(2人)、中国(1人)、フィリピン(2人)、ペルー(3人)	日本を旅行しよう	旅行に関する日本語を学ぶ	栗又由利子	
3	平成26年6月29日 10:00~12:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	5人	中国(3人)、ペルー(1人)、ベトナム(1人)	宇都宮の魅力を知ろう	地域の観光地を確認しながら、観光地に関する日本語を学ぶ	栗又由利子	
4	平成26年7月20日 10:00~12:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	4人	フィリピン(1人)、中国(3人)	栃木県のプロスポーツを知ろう	栃木県のプロスポーツチームを知る スポーツ観戦などをするときに関する日本語を学ぶ	細井陽子	
5	平成26年7月27日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	7人	タイ(5人)、ベトナム(2人)	着付けの日本語	浴衣の着付けをしながら、着物に関する日本語を学ぶ	栗又由利子	武 浩美

6	平成26年6月8日 10:00~12:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	9人	中国(8人)、ペルー(1人)	着付けの日本語	浴衣の着付けをしながら、着物に関する日本語を学ぼう	栗又由利子	
7	平成26年8月24日 10:00~12:00	2時間	小山市城南コミュニティセンター	5人	ベトナム(1人)、アメリカ(3人)、ペルー(1人)	アニメの日本語	アニメを日本人と語るために必要な日本語を学ぼう	栗又由利子	栗又宣和
8	平成26年9月13日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	11人	中国(11人)	アニメの日本語	アニメを日本人と語るために必要な日本語を学ぼう	矢野順	栗又宣和
9	平成26年10月20日 19:00~21:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	7人	ベトナム(3人)、チリ(1人)、ペルー(1人)、チェコ(1人)、スロバキア(1人)	ビジネスについて語ろう	ビジネスの話聞くための日本語を学ぼう	栗又由利子	
10	平成26年11月17日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	30人	中国(18人)、ベトナム(6人)、フィリピン(6人)	健康診断に必要な日本語	健康診断を受けるときに必要な日本語を学ぼう	栗又由利子	
11	平成26年11月23日 10:00~12:00	2時間	栃木サッカースタジアム	0人		サッカーボランティアの日本語	サッカーの試合のボランティアをしながら作業を行うための日本語を学ぼう		
12	平成26年11月27日 13:00~15:00	2時間	小山市ふれあい健康センター	15人	中国(15人)	温泉体験	大衆浴場を体験しながら地域の方とコミュニケーションをとるための日本語を学ぼう	栗又由利子	
13	平成27年1月20日 19:00~21:00	2時間	ネパール料理店	0人		お店の日本語	お客様へのサービス日本語を学ぼう		
14	平成27年2月28日 10:00~12:00	2時間	鹿沼市情報センター	8人	ベトナム(4人)中国(3人)ブラジル(1人)	ボランティア教室への意見を言おう	ボランティア教室への意見を言うための日本語を学ぶ	栗又由利子	
15	平成27年3月15日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	30人	中国(20人)タイ(3人)ブラジル(2人)パキスタン(5人)	着付けの日本語	着物を着るための日本語を学ぼう	矢野順	武 浩美

#### (7) 参加者の募集方法

フェイスブックを使って募集をした。  
また、電話、メールなどでも募集を行った。

#### (8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

旅行の回では、1回目は日本人が大学生中心だったため、外国人が日本人に日本の観光地案内をしているグループもあった。2回目は日本人側が「宇都宮シティガイド」のみなさんだったので、宇都宮市のいいところを教えてもらう時間になるかと考えていたが、外国人がガイドブックから得た情報について質問をし、シティガイドが準備していた観光地と全く違った場所を説明するということになった。外国人側が日本人へ「どんなところが魅力的か」ということを伝える機会となり、日本人側が想定していたものとは違った講座になった。外国人にとっても自分の意見を聞いてもらえる貴重な時間となった。

鹿沼市国際交流協会と共同で開催した回では、外国人が日本人へ「意見を言う」という機会になったが、普段言えないことも「場」を設けることでできるようになり、外国人もよりよい日本語教室のため、「自分の思いを伝える」いい機会になったようである。



旅行(宇都宮):シティガイドと



旅行(小山):大学生と



ビジネス:真岡青年会議所と



アニメ:アニメが好きな日本人と

(9) 取組の目標の達成状況・成果

在住外国人の方にとって興味のある日本語、目的のための日本語を学ぶ機会は少ない。今回の講座の開催により、興味や目的を通して日本語を学び、日本語の学習へのきっかけを作れたのではないかと思う。講座終了後、インタビュー形式で感想を聞いたところ、「とても楽しかった」「興味のあることだと、日本語も出てくるし、覚えたいと思う」「日本人と、同じ話題でたくさん話せて楽しかった」等の感想を聞くことができた。話をしたい、交流を持ちたいという外国人の希望をかなえるための「機会」を作ることができたことが、成果である。

(10) 改善点について

参加してみれば、「楽しかった」「チャンスがあればまた来たい」などの感想を聞くことができるが、やはり、参加しようと思うようにすることが難しいと考えている。参加しようと思うには、今ある予定を変更したり、その場所までの交通手段を考えたりと、いろいろと面倒なおこる。そういった面倒なことをしても、「参加したい」と思うような企画にしなければならないと思う。講座がより魅力的で、役に立つということをわかってもらえるような募集方法、企画内容が今後の課題である。

○取組4: 外国人と日本人とで学ぶ 日本生活エンジョイセミナー

(1) 体制整備に向けた取組の目標

外国人の学習意欲、日本語力を高め、日本人とのネットワークを得る機会を設定すること

(2) 取組内容

日本語力が高い外国人が、自分の興味のある内容を日本人と一緒に学習する。外国人にとってこの教室は、日本語の学習のみならず、情報収集の場になる。一緒に学習する日本人にとっては、地域に住む外国人を知る機会になり、また「やさしい日本語」に触れる機会となる。テーマによっては、専門家も招き、より専門的な日本語に触れる。

(3) 対象者 栃木県または近隣に住む通訳ができる外国人、日本人(地域住民サークル等)

(4) 参加者の総数 75 人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	1人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	74人

(5) 開催時間数(回数) 2 時間 (全15回)

## (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年5月11日 10:00~12:00	2時間	バス	5人	日本5人	バス旅行	バス旅行をしながら、旅行を企画する方法を学ぶ	玉木成雄	
2	平成26年6月8日 10:00~12:00	2時間	小山市城南コミュニティセンター	6人	日本6人	日本を旅行しよう	旅行に関する日本語を学ぶ	日吉達也	
3	平成26年6月29日 10:00~12:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	12人	日本12人	宇都宮の魅力を知ろう	地域の観光地を確認しながら、観光地に関する日本語を学ぶ	松浦真理子	
4	平成26年7月20日 10:00~12:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	3人	日本3人	栃木県のプロスポーツを知ろう	栃木県のプロスポーツチームを知るスポーツ観戦などをするときに使用する日本語を学ぶ	根本愛子	
5	平成26年7月27日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	2人	日1人、タイ1人	着付けの日本語	浴衣の着付けをしながら、着物に関する日本語を学ぼう	日吉達也	
6	平成26年6月8日 10:00~12:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	2人	日本2人	着付けの日本語	浴衣の着付けをしながら、着物に関する日本語を学ぼう	栗又智美	ガー
7	平成26年8月24日 10:00~12:00	2時間	小山市城南コミュニティセンター	5人	日本5人	アニメの日本語	アニメを日本人と語るために必要な日本語を学ぼう	日吉達也	
8	平成26年9月13日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	2人	日本2人	アニメの日本語	アニメを日本人と語るために必要な日本語を学ぼう	矢野順	
9	平成26年10月20日 19:00~21:00	2時間	宇都宮東市民活動センター	6人	日本6人	ビジネスについて語ろう	ビジネスの話を聞くための日本語を学ぼう	日吉達也	
10	平成26年11月17日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	10人	日本10人	健康診断に必要な日本語	健康診断を受けるときに必要な日本語を学ぼう	日吉達也	
11	平成26年11月23日 10:00~12:00	2時間	栃木サッカースタジアム	0人		サッカーボランティアの日本語	サッカーの試合のボランティアをしながら作業を行うための日本語を学ぼう		
12	平成26年11月27日 13:00~15:00	2時間	小山市ふれあい健康センター	4人	日本4人	温泉体験	大衆浴場を体験しながら地域の方とコミュニケーションをとるための日本語を学ぼう	日吉達也	
13	平成27年1月20日 19:00~21:00	2時間	ネパール料理店	0人		お店の日本語	お客様へのサービス日本語を学ぼう		
14	平成27年2月28日 10:00~12:00	2時間	鹿沼市情報センター	15人	日本15人	ボランティア教室への意見を言おう	ボランティア教室への意見を言うための日本語を学ぶ	根本愛子	
15	平成27年3月15日 10:00~12:00	2時間	きぼう国際外語学院	3人	日本3人	着付けの日本語	着物を着るための日本語を学ぼう	日吉達也	

## (7) 参加者の募集方法

フェイスブックを使って募集をした。  
また、電話、メールなどでも募集を行った。

## (8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

旅行の回では、日本人側が事前に準備した資料、内容と、外国人が望むものが違い、日本人側が慌てるということがあった。シティガイドが説明したいと思っているところと、外国人が行きたいと思っているところが違い、このまま外国人への説明を続けるべきか、それとも自分が紹介したいところへ話しを戻すか、悩みながらコミュニケーションを取っている様子が見えた。講座終了後の感想でも、「自分の考えと違って、びっくりしてしまった」などの感想があった。今後増えるであろう外国人観光客のためにも、在住外国人から意見を聞き、より魅力的なまちづくりができればと考えている。

アニメの回では、地域に住むアニメが好きな方が参加してくれた。日常会話のような日本語では、お互いの意思疎通がままならないのに、アニメの話になると、外国人も日本人も人が変わったように話し、ジェスチャーが増え、相手に伝えたい、相手をわかりたいという様子が伝わってきた。自分の好きなものを見つけ、それを「つなぎ」として、人と関われるということが講座を見ていた中で感じた感想である。



旅行(宇都宮):シティガイド中心



旅行(小山):大学生



着物:宇都宮大学留学生中心に



アニメ:アニメが好きな日本人と

## (9) 取組の目標の達成状況・成果

講座終了後、外国人側にインタビュー形式で参加者に感想を聞いたところ、「自分の話をしっかり聞いてくれた。私のことを考えながら話してくれたのははじめてで、本当にうれしかった。」という感想があった。日本人側は「やさしい日本語」を学んでから、外国人と交流を行った。そのため、「相手に配慮した」話し方ができたのではないだろうか。そしてそれは、明らかに外国人に伝わっており、「やさしい日本語」が完璧でなくても、「相手に関心を持っている」という姿勢が、大切だということを表していると思う。

日本人側にとったアンケートでは、「外国人の方の考えていることが少しわかってよかった。」「自分よりたくさんの知識を持っている」「日本人が考えている「外国人が考えていること」は違うということがわかって、よかった」など、たくさんの感想をもらった。「外国人は日本人が助ける」という一方的な存在ではないということも、日本人側が気付けたことが、この取組の成果だと考えられる。

## (10) 改善点について

日本人と外国人の日本語上級者向けの講座として開いたが、やはり、外国人は「外国人のクラス」に集まってしまい、日本人のみのクラスになってしまった。しかしながら、日本人のみになったことで、「やさしい日本語」についてじっくり話すことができ、変化も見ることができた。

外国人と一緒に学ぶことも、実際には「やさしい日本語」の実践の場、または、「やさしい日本語」の効果について、直接外国人から感想を聞くことのできる場になると思う。

外国人からの「やさしい日本語」の評価が聞ける場を、今後も考えていきたい。

## 6. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的

地域の外国人理解を促進し、やさしい日本語の使い手を増やすため、「やさしい日本語」の普及を目的とした。「やさしい日本語」を各分野に普及させ、今までの連携はもとより、様々な所と連携していく。また、この事業で、日本語学習だけではなく、外国人同士、または日本人とのネットワーク作りができればと考えている。

### (2) 事業目的の達成状況

「やさしい日本語」が地域の共通語としてとらえられ、また、外国人が日本語を学習する際のミニマム文法として、外国人、日本語ボランティアに理解してもらえきっかけ作りはできたのではないかと考えている。

運営委員会内でも、少しずつ理解者が増え、協力者が増えていることはすばらしいとの評価をいただいた。

外国人が日本語を学ぶだけでなく、受け入れ側である日本人社会も、「やさしい日本語」について理解し、今後訪れる多文化共生社会のひとつのツールになればと考えている。そういった考えが、少し広がったのではないかと考えている。

この広がりのおかげで、少しずつ協力団体も増えてきた。日本人向けの「やさしい日本語」講座では、宇都宮市と連携することができた。また、佐野市国際交流協会、鹿沼市国際交流協会と共同で講座を開催できたことは、大きな進歩であった。今後こういった理解していただける団体が増えるよう活動をしていきたい。

栃木県のボランティアセンターである「ぽぼら」が協力してくれるようになったことは、今年の大きな成果と言ってもよい。ぽぼらの紹介で、真岡青年会議所と知り合い、講座も開催することができた。残念ながら、講座の開催までには至らなかったが、栃木県のプロサッカーチーム「栃木SC」で募集しているボランティア活動についても紹介をいただいた。宇都宮市ボランティアガイド協会も紹介していただいた。こういった主旨を理解し、協力をしてくれる公的団体とつながれたことは今後の活動にとっても、また栃木県全体への影響を考えても大きい。今後も協力体制、連携体制をとっていきたい。

真岡青年会議所は、「グローバルマインド」について考えるグループがあり、そのグループが全面的に協力をしてくれた。今後もこういった地域のグループとも連携していき、外国人のみならず、「やさしい日本語」について広げていきたい。

宇都宮市シティガイドとの連携も今回の成果のひとつである。ぽぼらから紹介してもらい、外国人と街の魅力について話す事で、シティガイドも外国人が興味を持つ、意外な場所などを知ることができた。外国人はこういった団体があることを知り、今度国から友人や家族が来たときには、ぜひ案内してもらいたいと、連絡先の交換をしていた。シティガイドと外国人は、これからの地域の連携では、おもしろいつながりになるのではないかと考えている。

宇都宮健康クリニックとは、普段から実習生の健康診断をお願いしていたが、外国人とのやりとりについて、詳しく話を聞いたことはなかった。今回、講座開催にあたり、改めてお話をしたところ、健康クリニック側も困っていた点があり、外国人側も注意しなければならない点などが明らかになった。お互いが「よくわからない、理解してもらえない存在」なのではなく、こういった話し合い等をする事で、理解が進むということがわかった。

白鷗大学の学生グループとは、講座の共同開催は成功しなかったが、講座に参加してくれ、地域在住外国人と交流し、地域の実情が少しわかったようであった。今後も地域の大学生との活動を考えていきたい。

FM栃木とは3年続けて連携をすることができ、こちらの方針、目的等を理解してくれているため、よりよい番組作りのため、いろいろとアイデアや、方法を考えてくれている。こういった協力体制を今後も続けていきたい。

### (3) 地域における事業の効果、成果

#### 取組1

「やさしい日本語」を地域の「日本語教育に関係ない」人に理解してもらおうと活動をした。地域の日本人にとって外国人の存在がより身近に感じられたことは日本人にとっては効果があったと考えられる。一方、外国人にとっては、日本人と交流し、また自分自身の体験等が「人の役に立つ」、また講師として「人に伝える」ということは、自身の日本語を見直す機会となり、日本語学習へのモチベーションになった。

#### 取組2

外国人を受け入れる日本人側が、外国人を理解する、または外国人の存在を知ることができる機会となった。外国人側だけの努力ではなく、日本人側がどういった心持で外国人を受け入れるかが、外国人の日本語学習、社会参加を促すと考えられる。その日本人側にラジオ番組を通して、外国人の存在、考え方などを少しでも興味を持ってもらえたのではないかと思う。

#### 取組3, 4

外国人が日本語を学ぼうと思うための機会、外国人が日本人と交流する機会、日本人が外国人と知り合う機会、日本人が「やさしい日本語」を知る機会、日本人が在住外国人の考え、生き方に触れる機会、こういったたくさんの機会を作り出すことができたのではないかと思う。このあと、どのように継続していくかが課題ではあるが、きっかけ作り、機会作りはできた。

この取組2つは、同時開催であった。外国人側の日本語学習のきっかけを中心に考えていたが、実際に講座を行ってみると、日本人側のほうが学びが多く、外国人から教わったという感想が多かった。「日本人が外国人に教える」という仕組みを頭の中で作ってしまいがちであるが、こういった経験を通して、外国人は常に助けられる側ではなく、お互いが助け合い、学びあっていく存在だということを知ってもらえたのではないかと思う。

#### (4) 改善点, 今後の課題について

##### i 現状

地域の理解者が少しずつ増えており、今まで関係があったところだけに留まらず、新しい連携先も増えてきた。しかしながら、まだまだ少なく、特に国際交流関係のところほど、連携が難しい。それぞれの団体が、いろいろと工夫して取組をすでに行っているところも多く、そういった団体との協力体制がまだとれていない。

外国人の講座参加率は高くない。地域に根付いている方は、ご自身の予定が詰まっている。反対に、日本語に自身のない方は、そういった講座への参加をためらっているのではないかと考えられる。または、長く住んでいる方にとっては、日本語学習のきっかけ、動機がなく、「いまさら日本語なんて」と考えている人も多いのではないかと思われる。

##### ii 今後の課題

今後は、理解者を増やし、協力してくれる人、団体を増やして行くことが課題だと考えている。特に、公的機関、各国際交流協会等である。主旨に賛同してもらえれば、連携体制は取れると思うが、まだ主旨を理解してもらってところまで関係作りができていない。自分たちの活動内容をしっかり整理し、各団体の目的や、考え方に沿った、こちらからの協力体制、連携体制の提案をしていきたいと考えている。「やさしい日本語」を外国人、日本人に普及するため、「日本語教育的やさしい日本語」なのか、「多文化共生的やさしい日本語」なのかを、相手の団体に合わせ、しっかりとアピールしていきたいと思う。

##### iii 今後の活動予定

ぼぼらに間に入りてもらい、栃木県国際課とお話することができた。もし、今後も文化庁委託事業を受託できるのであれば、「後援」という形をとってもいいということになった。文化庁委託事業を来年度も受託できることがもっともこれからの活動には有益であるが、受託できなかった場合には、この活動で連携できた団体や、人と地道に活動を続けられたらと考えている。